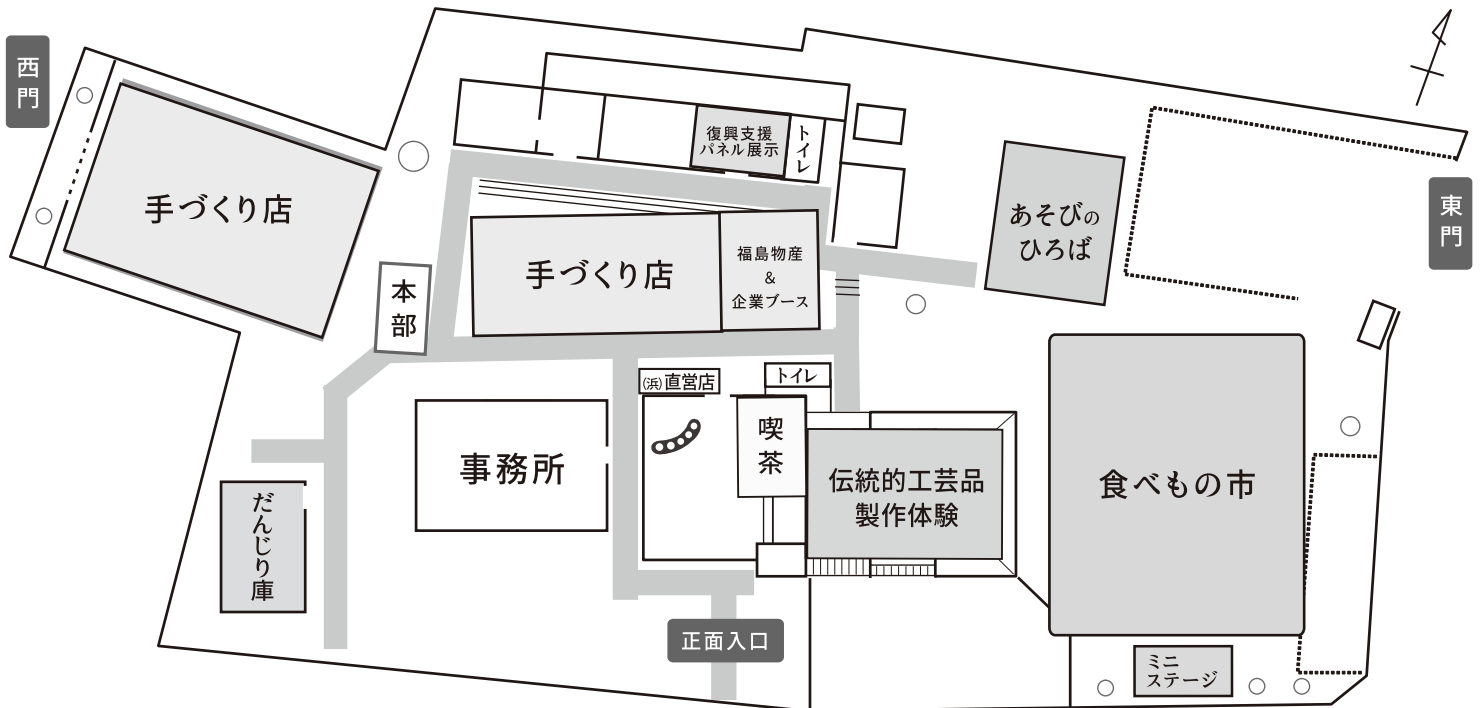


伝統工芸&手づくり市

10月20日(土) 21日(日) 10:00~15:00

会場図面

※配置は変更する場合があります。



伝統的工芸品製作体験出展団体

大阪欄間工芸協同組合

17世紀初期が起源とされている大阪欄間彫刻の技術・技法を受け継ぎ、屋久杉などの柗目を生かした室内調度品を生産しております。
この伝統工芸を広く知って頂くために大阪府下の小学校に於いて出前授業「ミニ欄間製作」を永年に亘り継続、また今回のように製作体験を通して、一般の方々にも伝統の技を提供させて頂いております。



(ミニ欄間)

大阪宗教用具商工協同組合(大阪仏壇)

なにわの町は日本最古の仏壇どころです。飛鳥時代、仏教の伝来と共に百濟(くだら)から難波津に仏工・造寺渡来したことに始まると言われており、16世紀後半に石山本願寺の仏具等がこの地で製造されたという記録も残っています。特長は、一部に高蒔絵によって鍔金具を打ったように見せ金具の錆による木地損傷を防いでいる所です。これは伝統工芸大阪仏壇の技術・技法です。



(彩色体験)

○当日は、その9工程のうちの2工程である金箔押しと彩色の製作体験をしていただけます。

大阪泉州桐箆筒製造協同組合

江戸時代中期、大阪・泉州の地に、衣装・財産の保管に優れた、桐たんすの一大産地が形作られました。良質の桐材を用いた大阪泉州桐箆筒は、代々受け継がれてきた技により、丹精こめて作られています。また、使用する桐材が厚く角を丸く削った桐丸型と呼ばれる箆筒が多いことから重厚な雰囲気を持っており、組手が多く、重厚さの中にも気品のあるその姿は「桐箆筒の最高峰」とも称されています。



(桐箱)

○当日は箆筒製造の桐材を使い「桐箱」「桐花台」作りを体験していただけます。

大阪唐木指物協同組合

その起源は定かではありませんが、建築様式の発達に伴い、ほぼ15世紀頃には技法が確立したと推測され、現在のよう産地は江戸中期に形成されました。

※紫檀、黒檀などの唐木を素材とし、飾り棚茶棚をはじめ座敷机、花台などが主流をしめています。釘を用いず組手で組み立てられ、素材を生かす漆仕上げは深い趣を醸し出しています。



(箸と箸箱)

○当日は唐木の良さを知ってもらい【身近で使ってもらうこと】を目的に、お箸、箸箱、写真立ての製作体験を行っています。



浜屋敷
吹田歴史文化まちづくりセンター

住所 | 大阪府吹田市南高浜町6-21
最寄駅 | 阪急京都線 相川駅徒歩10分
JR京 都 線 吹田駅徒歩15分
電話 | 06-4860-9731
HP | <http://hamayashiki.com/>
「浜屋敷」でご検索ください。

特定非営利活動法人
管理運営: 吹田歴史文化まちづくり協会

伝統工芸&手づくり市は
すいたオータムフェスタ2018に
参画しています。



お車でお越しの際は近隣の
コインパーキングをご利用ください。